

Electone® *STAGEA*®

ELB-02

活用ガイド

STAGEA

使い方

エレクトーンELB-02の世界にようこそ!

本書では、ELB-02を活用してエレクトーンを楽しんで行くための、
基本的な事柄を説明をしていきます。

ELB-02の最初の扉を開けて、その魅力の一部に触れてください。
これからのエレクトーンライフの第1歩。楽しんでいただけたら幸いです。

目次

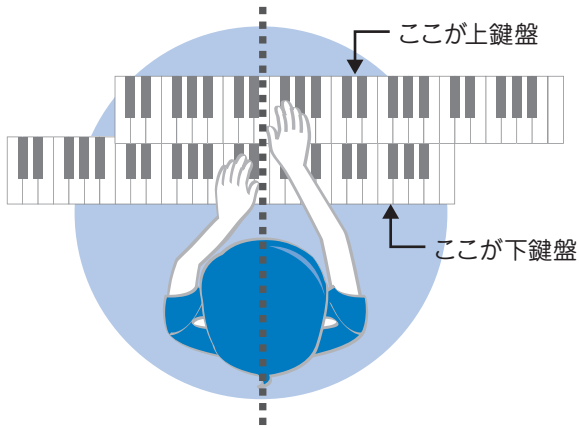
エレクトーンに座ってみましょう.....	3
電源を入れましょう.....	4
初期化.....	4
パネル.....	5
ボイスセクション.....	6
ボイスディスプレイ.....	7
ボイス(音色)メニューをみてみよう.....	8
リズムセクション.....	10
リズムメニュー.....	11
楽譜と鍵盤の関係.....	13
楽譜の見方・弾き方.....	14
レジストレーションメニューで演奏してみましょう.....	15
レジストレーションメモリーを使ってみましょう.....	19
レジストレーションデータをUSBフラッシュメモリーに保存しましょう.....	22
USBフラッシュメモリーからデータを呼び出してみましょう.....	24
オーディオ録音をしてみましょう.....	25
オーディオ録音を再生してみましょう.....	26
コード一覧表.....	27



エレクトーンに座ってみましょう

座り方

体の中心が、中央ミの位置にくる感じでイスに座りましょう。



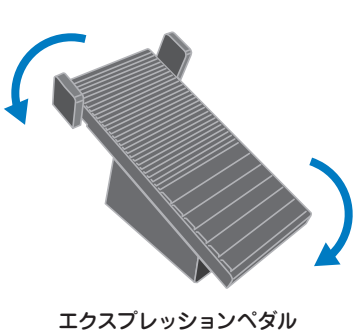
背筋を伸ばして、腹筋を使って体重を支えます。肩の力を抜いてリラックスしましょう。

右手は上鍵盤

左手は下鍵盤

右足は奥のペダル

左足はペダル鍵盤



エクスプレッションペダル



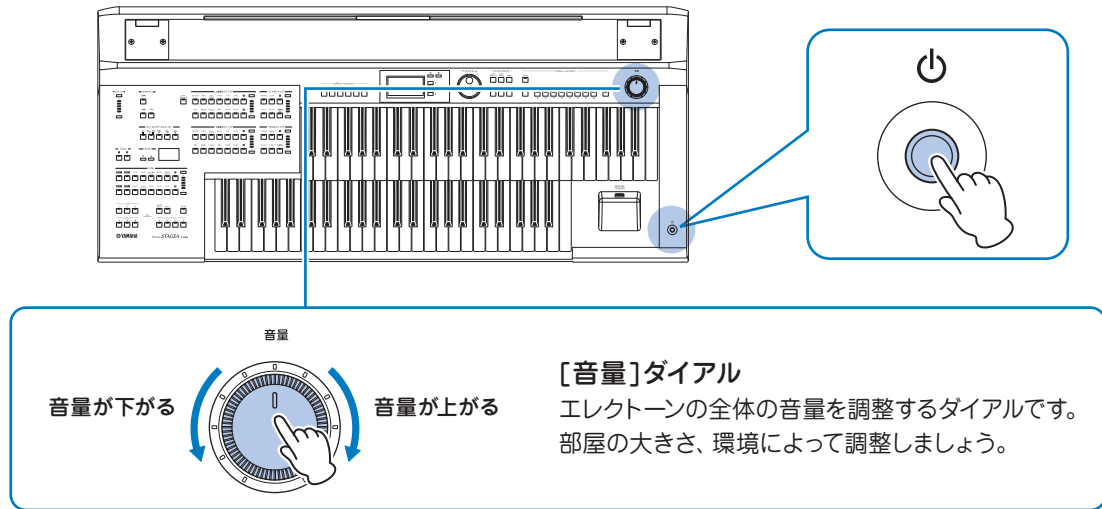
右足を載せるペダルは、「エクスプレッションペダル」と言います。

音量（ボリューム）を調整するものです。ペダルは踏み込むと角度が変わります。踏み込むと大きく、手前に引くと小さくなります。体のバランスを崩さないように、そっと足を載せ、操作するようにしましょう。



電源を入れましょう

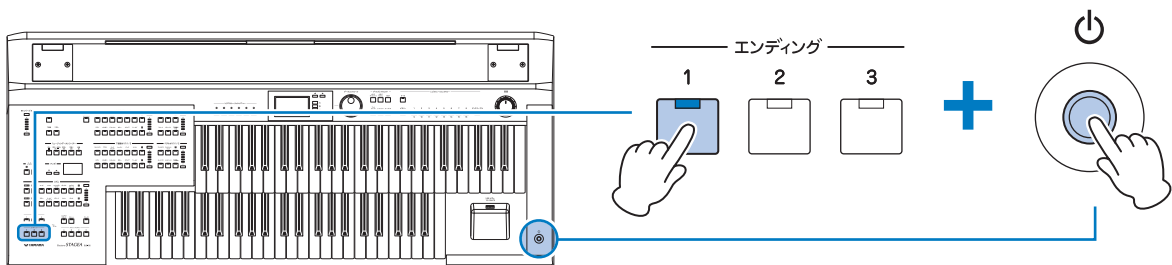
[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れてみましょう。



初期化

初期化とはエレクトーンをリセットすることです。データ制作をするなど、何か新しいことをする際にこの操作をします。まずはこの操作を覚えましょう！

- 1 エレクトーンの電源を切ります。
- 2 パネルのリズム エンディング [1] ボタンを押しながら電源を入れましょう。



- 3 パネル中央のディスプレイ画面が表示されたら、エンディング [1] ボタンの指を離します。さあ、これで準備ができました！

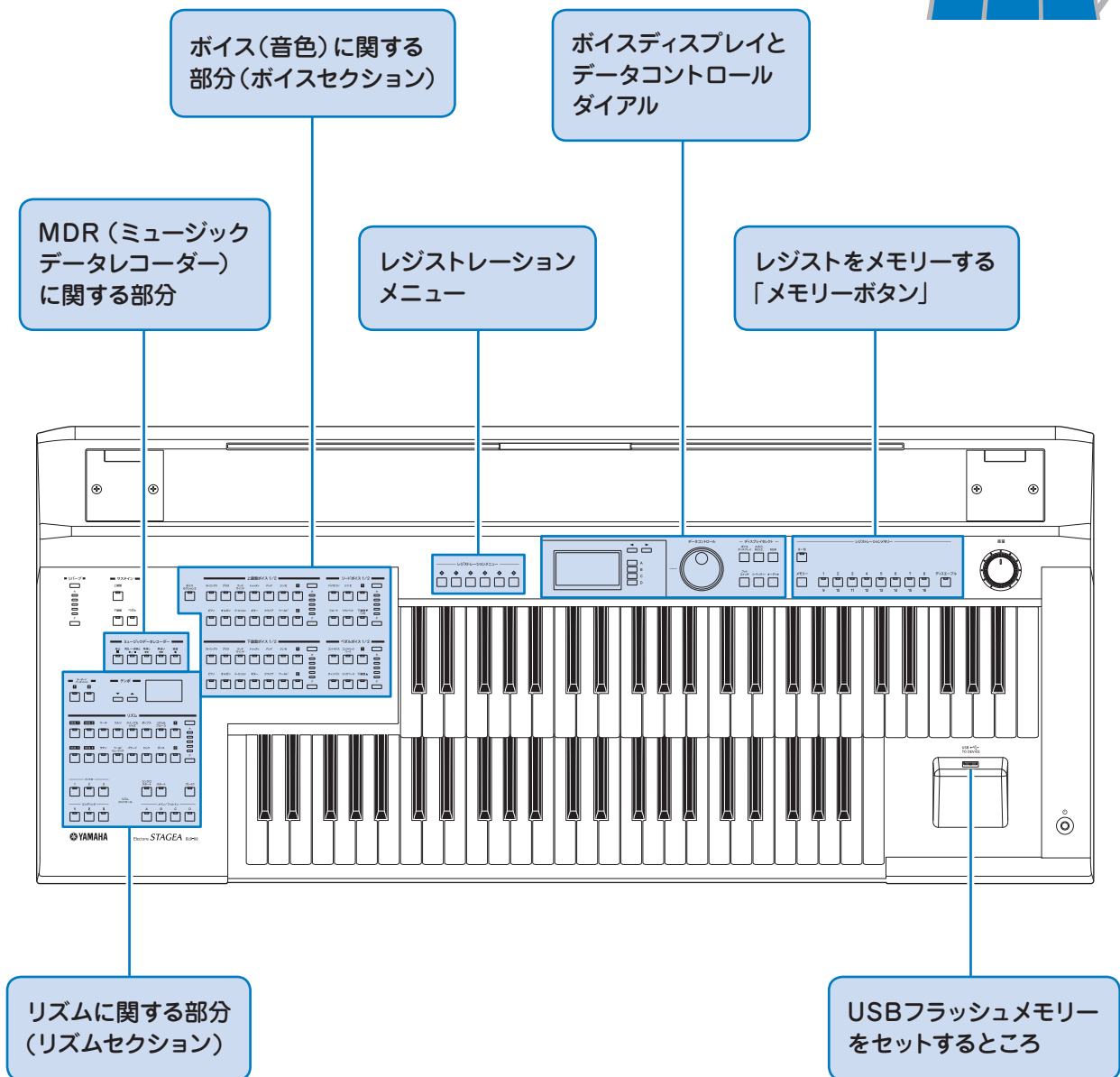
初期化をした状態で解説をスタートしましょう。



パネル

ここでは、まずELB-02のパネル面の理解をしましょう。

パネル面はいくつかのセクションに分かれています。
主な名前や役割を知っておきましょう。





ボイスセクション

ボイスセクションの仕組みを知っておきましょう。

ボイス(音色に関する部分)は4つのセクションがあります。

ボイスセクション1

上鍵盤ボイス1

リードボイス1

下鍵盤ボイス1

ペダルボイス1

ボリューム(大きさ)を調整するところ

下鍵盤▼/▲= 下鍵盤で鳴らすことができるボタン

4セクションで1セット! 実は、ELB-02は、もう1つ同じセットを持っています。

パネルの ボタンを押す(点灯)と、ボイスセクション2に切り替えることができます。

ボイスセクション2

上鍵盤ボイス2

リードボイス2

下鍵盤ボイス2

ペダルボイス2

ボリューム(大きさ)を調整するところ

ソロボタン

下鍵盤▲= 下鍵盤で鳴らすことができるボタン

メモ

本書では使いませんが、 ユーザー[1]/ ユーザー[2]ボタンは自由にいろんな音色が選べるボタンです。

[下鍵盤▼/ソロ] / [下鍵盤▲]ボタンはそれぞれのセクションを通常とは違う使い方をするときを使うボタンです。

詳しくは、取扱説明書の2章「ボイス(楽器音色)」の章をご覧ください。



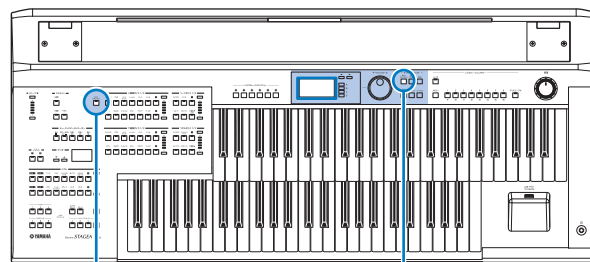
ボイスディスプレイ

ボイス
ディスプレイ



ボタンを押すと、ボイスディスプレイ画面にどんなボイスがセットされているかが表示されます！

それぞれのON、OFFも一覧できます(ONで音が出ている状態、OFFで音が出ない状態です)。



[ボイスセクション2]ボタン

[ボイスディスプレイ]ボタン

ボイスディスプレイ画面を見ると…

ボイス
セクション2



ボイスセクション1

(ボタンが「オフ」のとき)

ボイスディスプレイ	
上鍵盤1 : スtringス 1	ON
リード1 : バイオリン 1	OFF
下鍵盤1 : ピアノ 1	ON
ペダル1 : フィンガーベース 1	ON

上鍵盤で「ストリングス1」、下鍵盤で「ピアノ1」ペダル鍵盤で「フィンガーベース1」の音色が出る設定がされています。

* リード1は「バイオリン 1」が設定されていますがOFFなので音が出ない状態です。

ボイス
セクション2



ボイスセクション2

(ボタンが「オン」のとき)

ボイスディスプレイ	
上鍵盤2 : ブラウSec 1	OFF
リード2 : フルート 1	OFF
下鍵盤2 : スtringス 1	OFF
ペダル2 : コントラバス 1	OFF

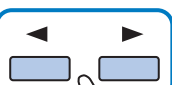
今はすべてOFF = 音が出ない状態です。

このボイスセクション1と2とがミックスされて音が鳴ります。



ボイスディスプレイ

上鍵盤1 : スtringス 1



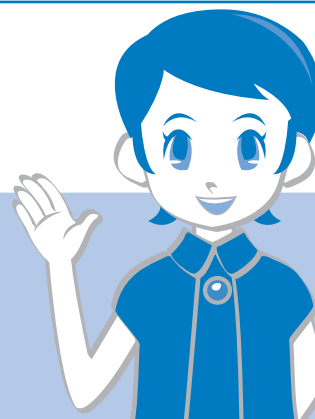
ディスプレイ横のページボタンでもセクションを変えることができます。

鍵盤を弾いて確認してみましょう！

上鍵盤は「ストリングス」

下鍵盤は「ピアノ」

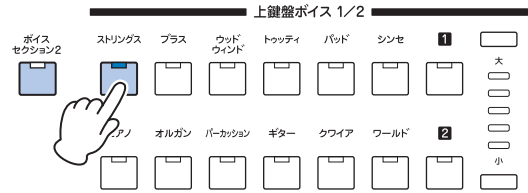
ペダルは「フィンガーベース」の音が出ますね。





ボイス(音色)メニューをみてみよう

各ボイスボタンの中にはその仲間がたくさん入っています。上鍵盤ボイス1の「ストリングス」の仲間を見てみましょう。

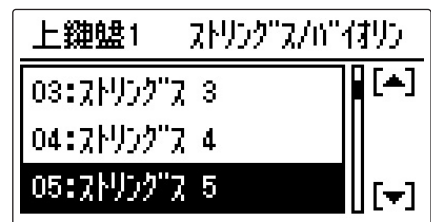


ストリングス

1  ボタンを押します。

ボイスディスプレイは、ストリングスの音色を選ぶ画面になります。

2 データコントロールダイヤルを回すとストリングスの仲間が順に出てきます。

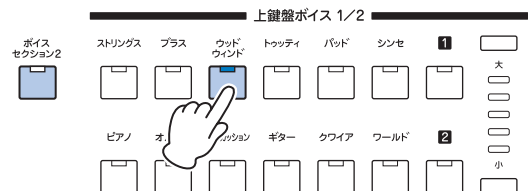


たくさんのストリングスの仲間が用意されています。



ボイス(音色)を変更してみましょう

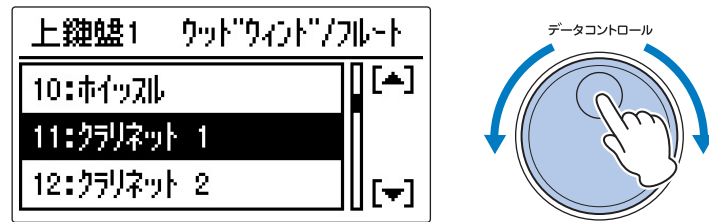
上鍵盤ボイス1のボイスをウッドウィンドにある「クラリネット」に変更してみましょう。



1  ボタンを押します。



2 データコントロールダイヤルを回して「11:クラリネット1」を選びます。



3 鍵盤を弾いて確認しましょう。
「クラリネット」の音になりましたね!!

Let's Try 下鍵盤に「ストリングス」を加えてみましょう。

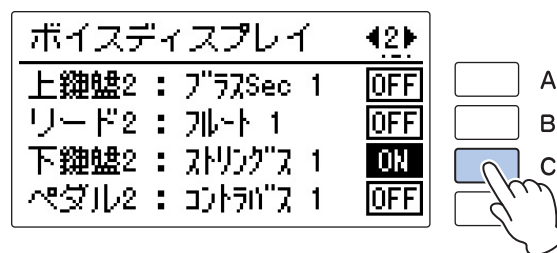
今、下鍵盤ボイス1のピアノのみが鳴る状態です。下鍵盤ボイス2に用意されているストリングスを「ON」にすることで、下鍵盤にストリングスが加わります!

ボイス
セクション2

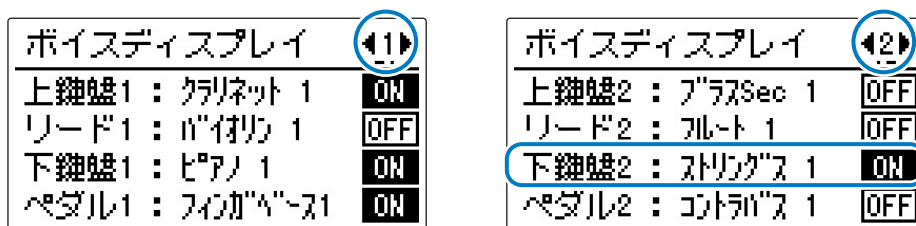
1  ボタンを押します(点灯)

ボイスセクション2を操作できる状態になりました!

2 [ボイスディスプレイ]ボタンを押し、ボイスディスプレイ画面横の[C]ボタンを「ON」にしてみましょう。



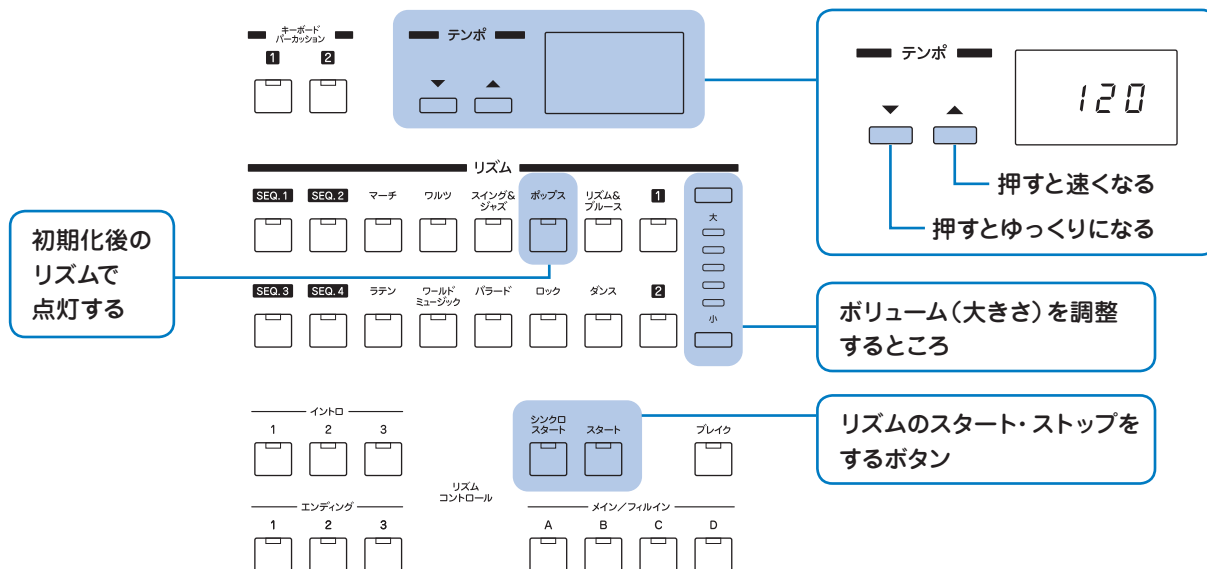
3 これで下鍵盤にストリングスが加わりました。





リズムセクション

セットされているリズムを聴いてみましょう。

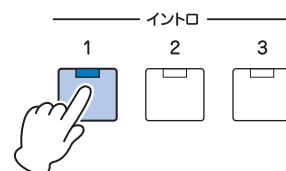


ポップス

初期化後のリズムは ボタンが点灯しています。

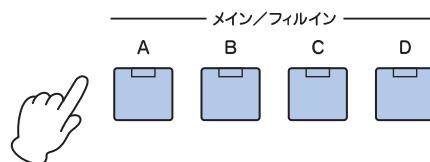
選ばれているリズムパターンは「シンプル 8ビートポップ」 メイン: B テンポは ♩ = 120です。

1 イントロ [1] ボタンを押します。

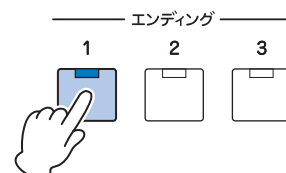


2 ボタンを押すとイントロ [1] のカウントが鳴ったあと、シンプル 8ビートポップのメインBのリズムパターンがスタートします。

3 次に、メインボタンを変更していきましょう。
A → B → C → Dとパターンは盛り上がっていきます。
変更時自動的に、1小節のフィルインのパターンが鳴ります。(点滅)



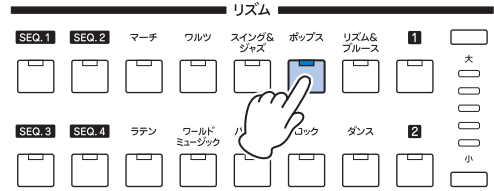
4 エンディング [1] ボタンを押します
リズムはエンディング 1 のパターンに切り替わり自動的にストップします。





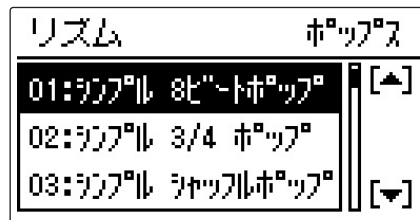
リズムメニュー

ポップス ボタンの中にも、ボイスのようにたくさんの仲間のリズムパターンが用意されていますよ。リズムメニューを見てみましょう。

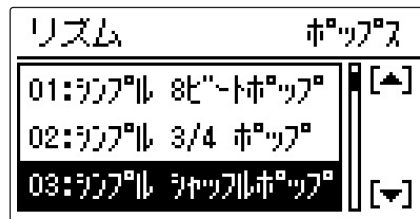


ポップス

1 ボタンを押します。



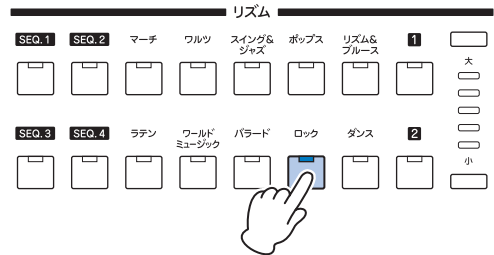
2 データコントロールダイヤルを回すとポップスのリズムの仲間が順に出てきます。



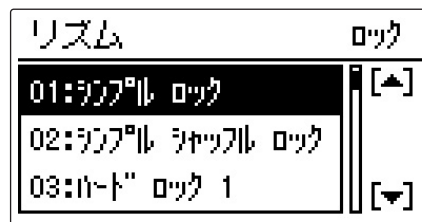
ポップスのボタンの中にもたくさんのパターンが用意されています。

Let's Try リズムパターンを変更してみよう！

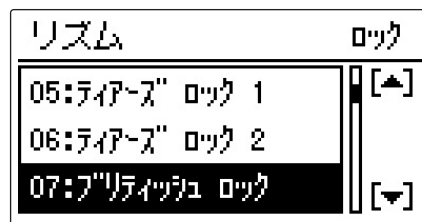
リズムパターンをロックの仲間「07:ブリティッシュロック」に変更してみましょう。



- 1  ボタンを押します。



- 2 データコントロールで「07:ブリティッシュロック」まで進めます。



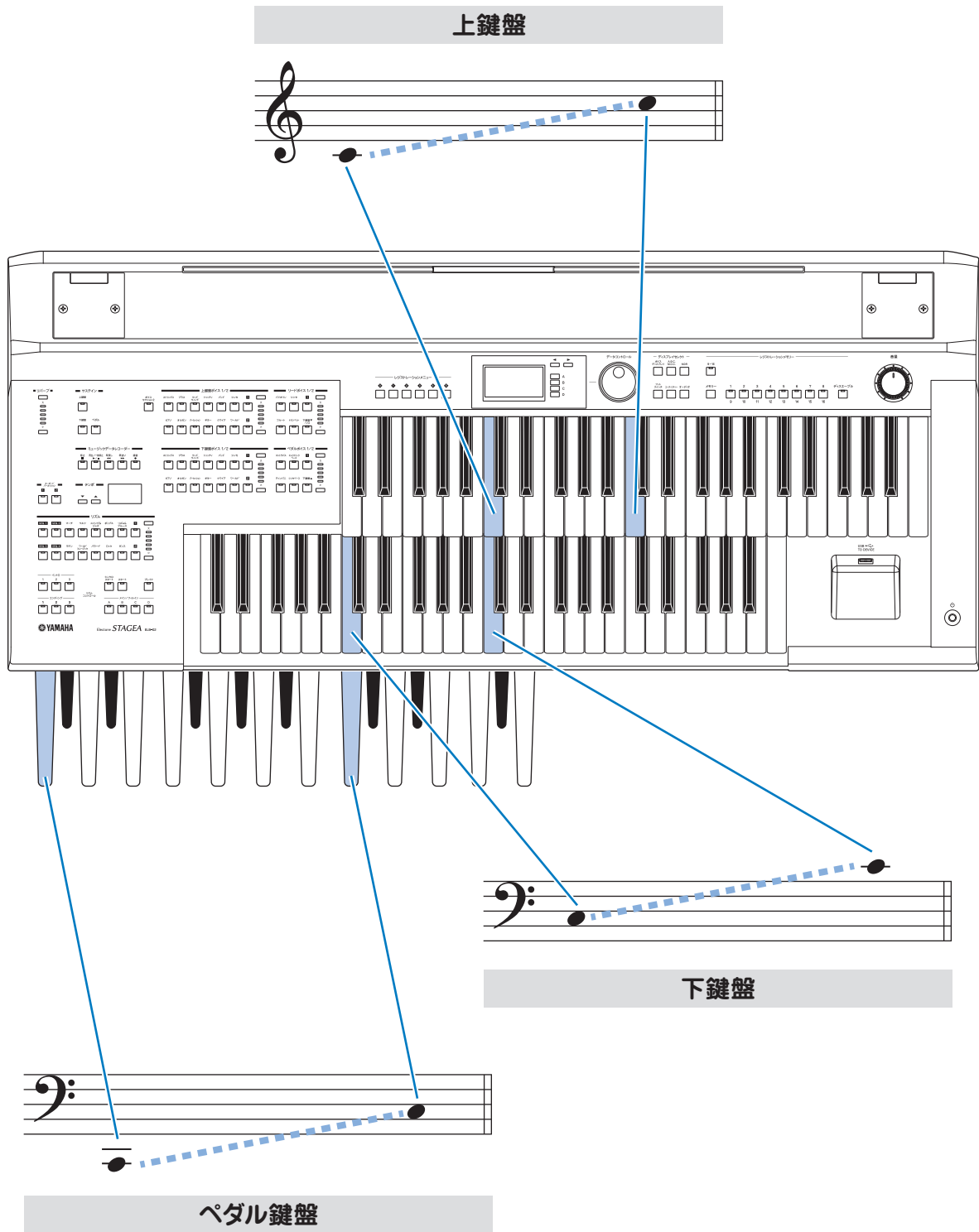
- 3  ボタンを押してパターンを聴いてみましょう。

ストップする際も  ボタンを押します。



楽譜と鍵盤の関係

ここで楽譜とエレクトーンの鍵盤の関係を確認しておきましょう。





楽譜の見方・弾き方

エレクトーンはコードネーム付1段譜で演奏する場合と、3段譜をそのまま演奏する場合があります。

たとえば、譜例1(1段譜)の場合、実際には、譜例2のように演奏します。

譜例1：1段譜

Intro C A C *8va* ----- G

伴奏型 || e 8va ||



譜例2：3段譜（実際の演奏）

Intro C A C G

上鍵盤

下鍵盤

ペダル鍵盤

右手で演奏
8vaの指示があるので1オクターブ上で演奏

左手と左足で演奏
伴奏型の指示に従って左手と左足で演奏



よく使うコードの押さえ方が巻末にありますので参考にしてください。



レジストレーションメニューで 演奏してみましょう

レジストレーションメニューとは、音やリズムを選ばなくても、ボタンを押すだけで、色々なジャンルにあったセットが一瞬で用意される、便利なメニューです！

早速レジストレーションメニューを使って楽しんでみましょう。

パネル、ディスプレイの横にあるボタンです。



レジストレーションメニューには基本的な楽器の組み合わせが用意されている[0]ボタン(ベーシックメニュー)と、さまざまなジャンルの曲をすぐに演奏できる[1]~[5]のボタンがあります。

0	ベーシック 基本的な楽器の組み合わせのメニューです
1	キッズ 童謡やアニメソングなどに適しています シンプル 即興演奏や自由に演奏したいときに使えるレジストレーションです
2	ポップ&ロック
3	ダンス&バラード
4	ジャズ&ラテン
5	シンフォニー&ワールド



合計、601種類ものメニューがそろっていますよ！

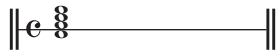
さて、レジストレーションメニューを使って「よろこびのうた~Ode to Joy~」を演奏してみましょう。

よろこびのうた

～ Ode to Joy ～

作曲 L.v. Beethoven

伴奏型



Intro C **A** C 8va G sempre C G

4

イントロ2 + リズムシンクロスタート

C G C G C

B G C G C G E7 Am D7 G

C G C (8va) G C C

3

エンディング2

演奏の準備や手順は18ページにあります。

最初は **A** のパートを演奏してみましょう。

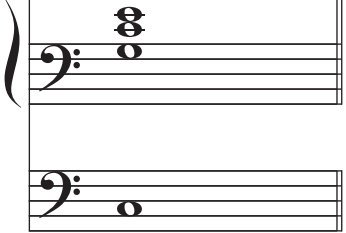
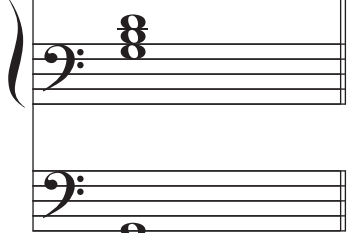
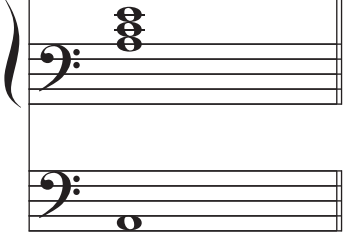






コードは2つだけです！

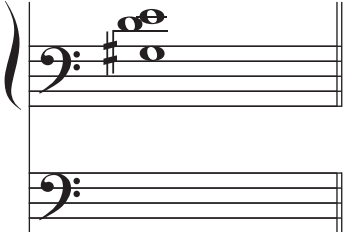
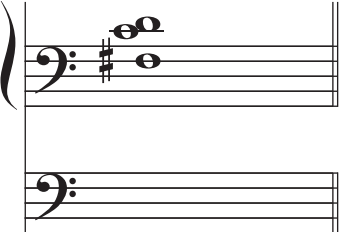




余裕ができたなら **B** のパートにもトライしてみましょう。



コードネームと押さえ方

この曲で使うコードネームと鍵盤の位置の関係です。

C (シー)	G (ジー)	Am (エーマイナー)
		
		
		

E7 (イーセブン)	D7 (ディーセブン)
	
	
	

コードはつなげて弾けるように、繰り返し練習してみましょう！

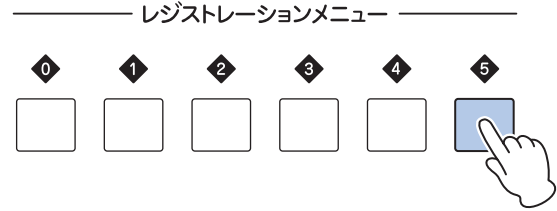
C-G-C Am-E7-Am G-D7-G Am-D7-G



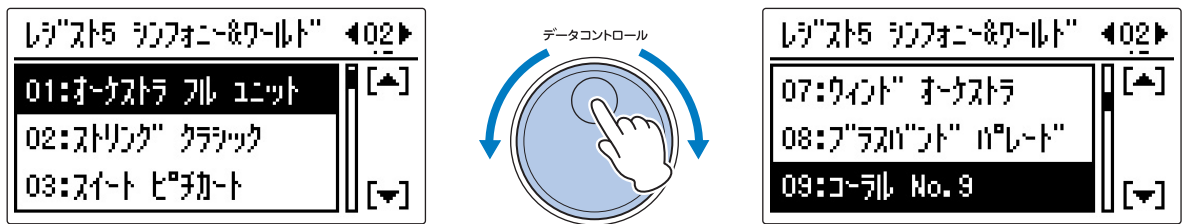
演奏の準備をしましょう

レジストレーションメニューを選んで演奏の準備をしましょう。

- 1 レジストレーションメニューボタンを押します。



- 2 データコントロールで「09:コーラル No.9」を選択、これで準備ができました。



■ 演奏手順の確認をしましょう。

よろこびのうた ～ Ode to Joy ～

作曲 Lv.Beethoven

3 Cコードを押さえる。

1 イントロ[2]ボタンを押す。

2 [シンクロスタート]ボタンを押す。
(下鍵盤・ペダル鍵盤を押すとリズムがスタートします)

4 右手は1オクターブ上(8va...)で演奏する。

※ [A] のみで終わる場合は、この小節で好きなエンディングボタンを押しましょう。

5 エンディング[2]ボタンを押す。

伴奏型

Intro C A C 8va G sempre C G

イントロ2 + リズムシンクロスタート

B G C G C G E7 Am D7 G

C G C (8va) G C C

エンディング

エンディング2




確認できたら、16ページの楽譜を演奏してみましょう。



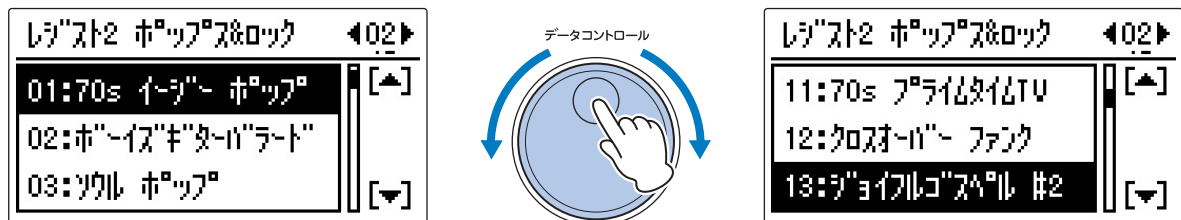
レジストレーションメモリーを 使ってみましょう

続いて同じ「よろこびのうた」を別のレジストレーションメニューで演奏してみましょう。同じ曲でも違った感じの曲になります。

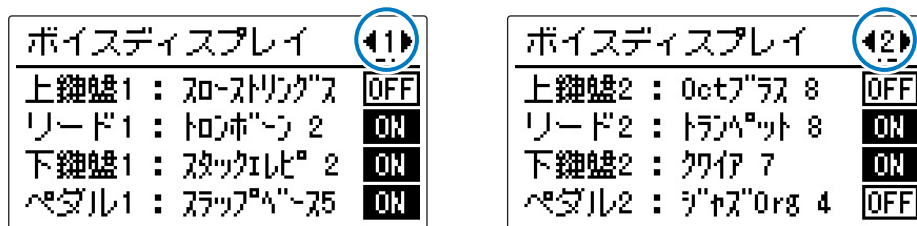
今度は、レジストレーションメモリーボタンを使って、途中でレジストレーションを変更してみましょう。

1 レジストレーションメニュー  ボタンを押します。

2 データコントロールで「13:ジョイフルゴスペル #2」を選びます。

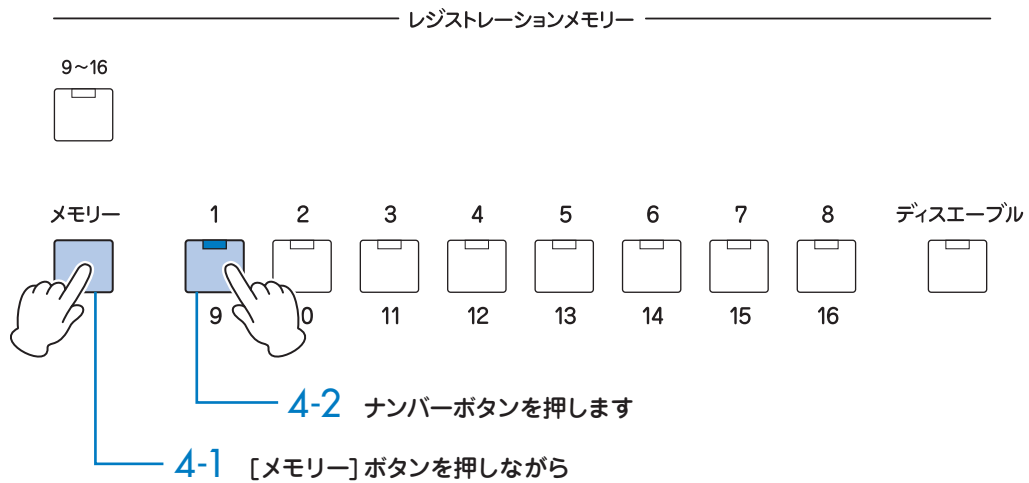


3 このレジストレーションメニューのボイスのセットは



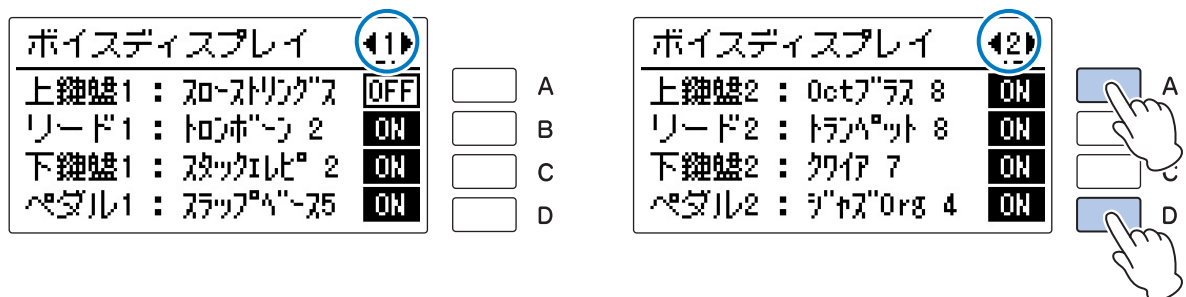
リズムパターン「ハリウッド ゴスペル」 メイン:C テンポは ♩ = 111です。
この状態を[レジストメモリー1]にメモリーしましょう。

- 4 ナンバーボタン[1]の上にあるランプが一時的に点滅し、記録が完了したことを示します。これで1つめのレジストレーションができました。このボタンを押せば、いつでもこのレジストレーションを呼び出すことができます。

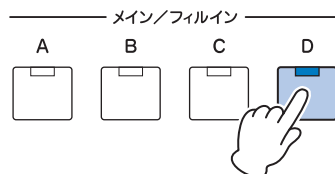


- 5 次に2つめのレジストレーションを作りましょう。

ボイスディスプレイで、上鍵盤ボイス2「Octプラス8」とペダル2「ジャズOrg4」を「ON」にします。

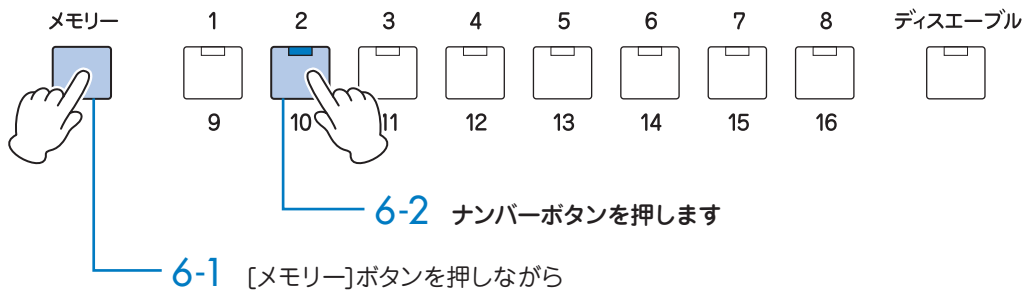


リズムを[メインD]に変更します。



Dが点滅していたら、もう一度押して点灯に変えてください。

6 [レジストメモリー2]に保存しましょう。



これで準備完了!

7 16ページの楽譜を演奏してみましょう!

A をレジストレーションメモリー[1]、

B をレジストレーションメモリー[2]

で演奏してみましょう。



レジストレーションメモリーボタン[1]を押してから演奏を始めます。

Bが始まる1拍前で、右手でタイミング良くレジストレーションメモリー[2]ボタンを押してみましょう。

メモリー 1 2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15 16

G C **B** G C G C

イントロやエンディングはそれぞれ3種類ずつあります。

おすすめはイントロ3、エンディング3ですが、自由に選んでかまいません。

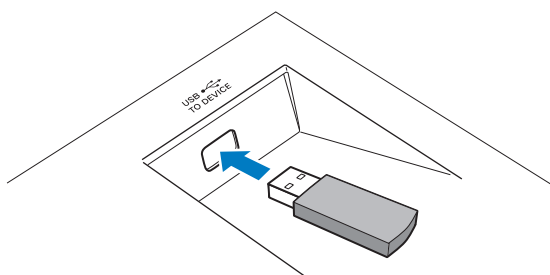
メロディーも楽譜どおりでなく、ゴスペルのシャッフルしたリズムに合わせて自由に変えて弾いてみるのも楽しいですね。



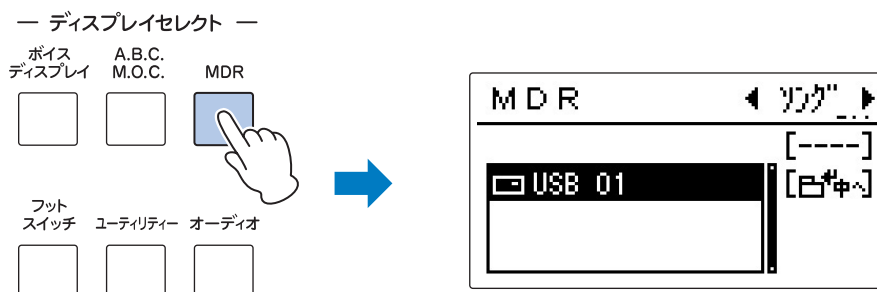
レジストレーションデータを USBフラッシュメモリーに保存しましょう

記録したレジストレーションデータを、USBフラッシュメモリー(別売)に保存しましょう。
USBフラッシュメモリーをお買い求めの際は、ご購入の前にインターネット上の
ピアノ・鍵盤楽器お客様サポートページ
<<http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/support/>>
に掲載されている「USBデバイス動作確認済みリスト」でご確認ください。

1 USBフラッシュメモリーを [USB TO DEVICE] 端子に挿入します。

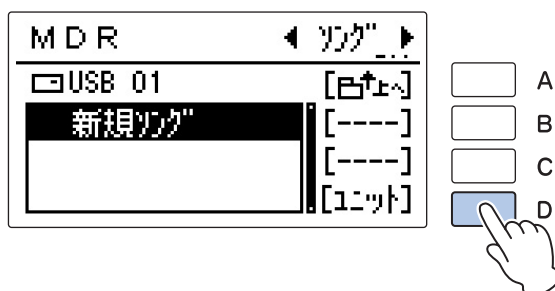


2 [MDR] ボタンを押して、MDR画面ソングページを表示させます。

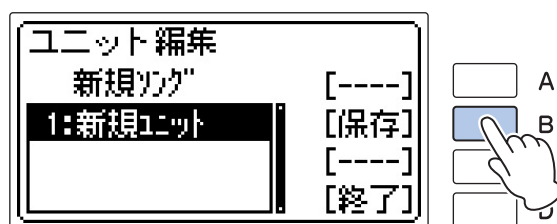


3 [B]「」ボタンを押して、USBフラッシュメモリーの中身を表示させます。

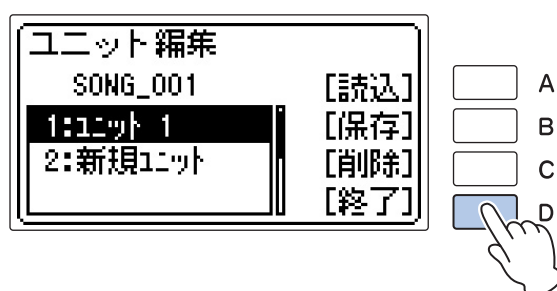
4 データコントロールダイヤルで「新規ソング」を選び、[D]「」ボタンを押します。



5 ユニット編集画面で[B]「保存」を押します。



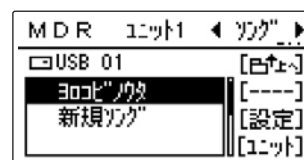
6 レジストレーションが、USBフラッシュメモリー内にSONG_001のユニット1のデータとして保存されました。



[D]「終了」ボタンを押して終了です!

メモ

保存したレジストレーションのソングは、名前を付けることもできます。詳細は取扱説明書6章「MDR」の「ソング/フォルダーに名前を付ける」で確認してください。

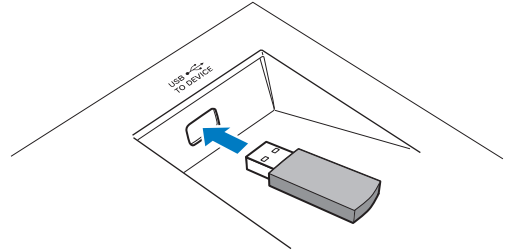




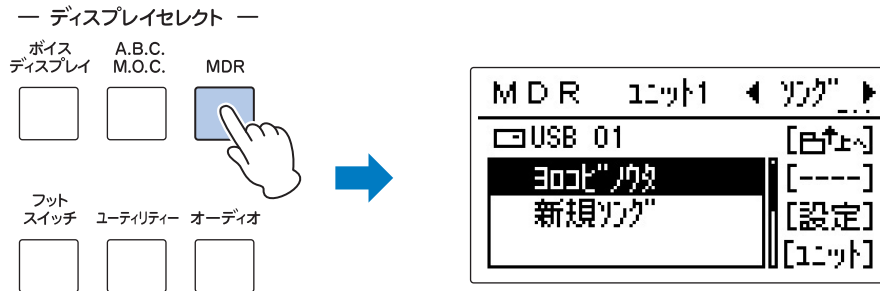
USBフラッシュメモリーからデータを呼び出してみましょう

USBフラッシュメモリー内のソングに保存した「よろこびのうた」のレジストレーションデータを、エレクトーンに読み込み、演奏のときに使えるよう準備します。

- 1** USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に挿入します。



- 2** [MDR]ボタンを押して、MDR画面ソングページを表示させます。

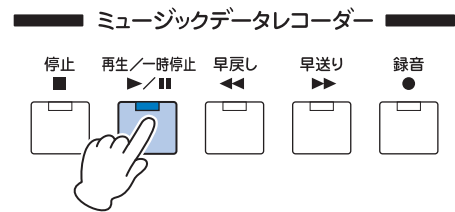


- 3** 「よろこびのうた」のレジストレーションを保存したソングを選びます。

- 4** ミュージックデータレコーダーの[再生/一時停止]ボタンを押します。

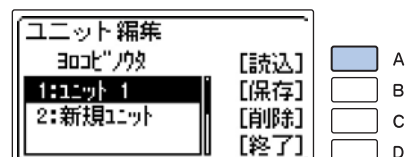
レジストレーションを読み込み中であることが画面上に「-----」で表示されます。読み込みが終わると表示が消えます。

これでレジストレーションメモリーのナンバーボタン[1]、[2]に「よろこびのうた」のデータが読み込まれました。



メモ

データの読み込みはこの他に[A]「読込」ボタンを押す方法もあります。詳しくは取扱説明書6章「MDR」の「レジストレーションデータを読み込む」をご覧ください。




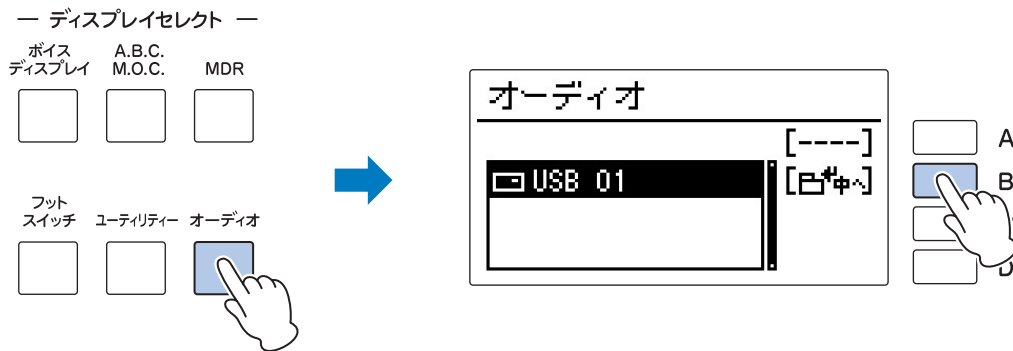


オーディオ録音をしてみましょう

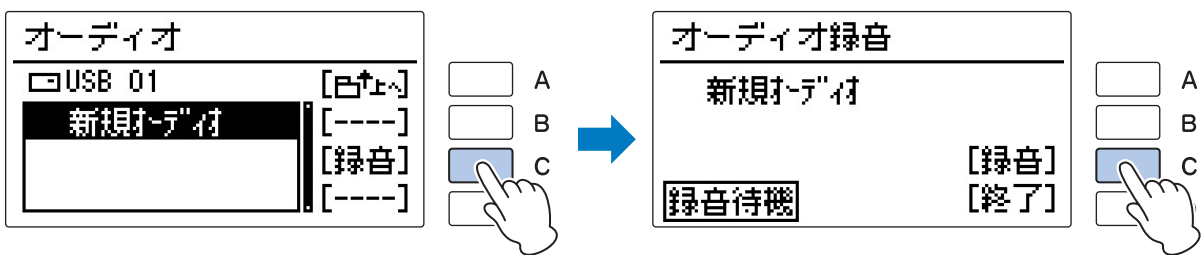
演奏した音そのものをデジタルで録音することができます。録音したものはUSBフラッシュメモリーにオーディオファイル(WAVファイル)として記録されます。データ保護のため、まず取扱説明書7章「オーディオ」の最初のページに書いてある注記をお読みください。

1 USBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に挿入し、レジストレーションの準備をします。

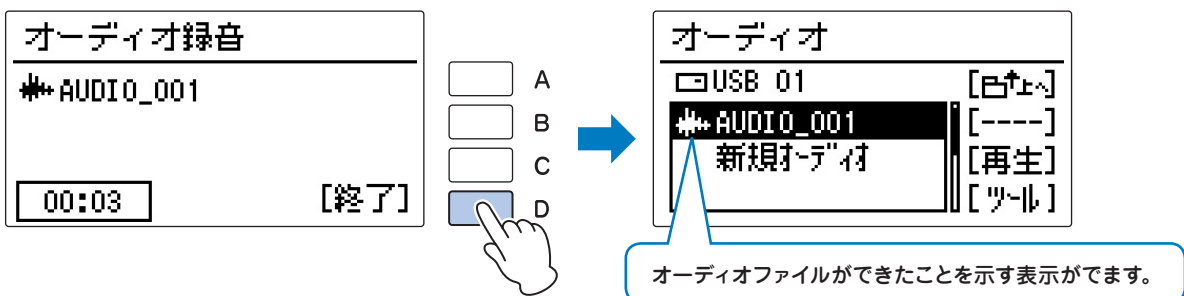
2 [オーディオ]ボタンを押して、オーディオ画面を表示させ、[B]「」ボタンを押して中身を表示させたあと、データコントロールダイヤルを回して「新規オーディオ」を選びます。



3 [C]「録音」ボタンを押すと録音待機状態になるので、もう一度[C]ボタンを押します。



4 演奏を開始します。演奏が終了したら[D]「終了」ボタンを押します。





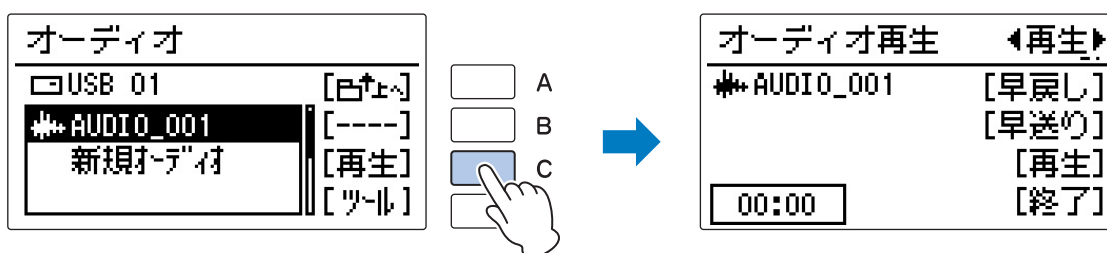
オーディオ録音を再生してみましょう

- 1 オーディオ録音データが入っているUSBフラッシュメモリーを[USB TO DEVICE]端子に挿入し、[オーディオ]ボタンを押して、中身を表示させます。



- 2 再生させたいオーディオファイルを選びます。

- 3 [C]「再生」ボタンを押して、オーディオ再生画面を表示させます。



- 4 [C]「再生」ボタンを押して再生します。

ELB-02には演奏を録音する2種類の方法があります。

それぞれの特徴がありますので、やりたいことに合わせて選択してください。

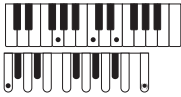
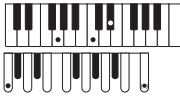

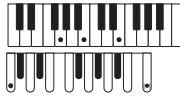


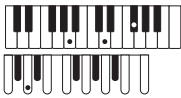
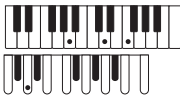

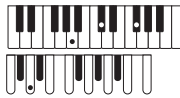

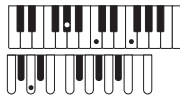
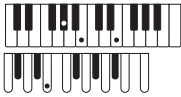
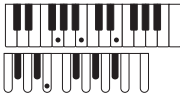
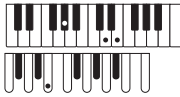
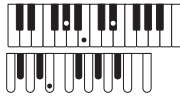

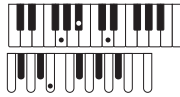



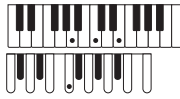


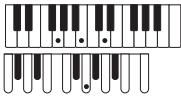
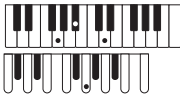

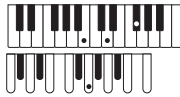


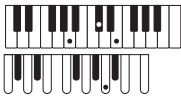
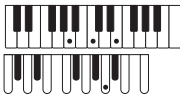

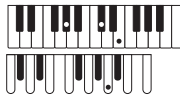

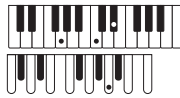
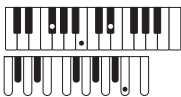
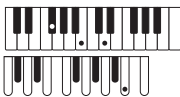

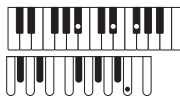

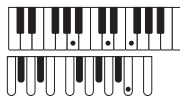
■ MDR録音

MDR機能を使って録音する方法です。この活用ガイドでは、レジストレーションデータのみ保存しましたが、合わせて演奏も録音することができます。エレクトーンで再生するためのデータになりますが、録音したあとでレジストレーションを差し替えたり、上鍵盤、下鍵盤、ペダル鍵盤というように別々に録音することができたりします。また、これで録音したものをオーディオ録音することもできます。

■ オーディオ録音

この活用ガイドでやっている方法です。演奏した音をそのままデジタル録音しますので、エレクトーンがなくてもコンピューターなどで演奏を聞くことができます。CDを制作したり、メールでお友達に送って聞いてもらうこともできます。

コード一覧表

メジャー・コード	マイナー・コード	セブンス	メジャーセブンス	マイナーセブンス	マイナーセブン フラットドファイブ
C 	Cm 	C7 	CM7 	Cm7 	Cm7 ⁻⁵ 
D 	Dm 	D7 	DM7 	Dm7 	Dm7 ⁻⁵ 
E 	Em 	E7 	EM7 	Em7 	Em7 ⁻⁵ 
F 	Fm 	F7 	FM7 	Fm7 	Fm7 ⁻⁵ 
G 	Gm 	G7 	GM7 	Gm7 	Gm7 ⁻⁵ 
A 	Am 	A7 	AM7 	Am7 	Am7 ⁻⁵ 
B 	Bm 	B7 	BM7 	Bm7 	Bm7 ⁻⁵ 

◆エレクトーンの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター
エレクトーン・D-DECKご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-005-808

※ 固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合はTEL 053-460-4836へおかけください。

受付：月曜日～金曜日 10:00～17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

<http://jp.yamaha.com/support/>

◆ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社ホームページ
<http://jp.yamaha.com/>

ヤマハエレクトーンホームページ
<http://jp.yamaha.com/electone/>

ヤマハ ダウンロード
<http://download.yamaha.com/jp/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1



ZS53070

Manual Development Department
© 2016 Yamaha Corporation

2016年2月 発行 MWAP** - **A0
Printed in Vietnam

ZS53070